

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		河川・調整池維持管理事業		担当課 建設課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間 昭和57年度～
	施策	防災対策の推進		種別 任意の事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働
予算科目コード		01-080301-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 調整池の機能を維持するため、汚泥清掃及び除草を行う。
開発等により増大する雨水流量を調整することで、下流域での洪水による影響を防止する。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
調整池の維持管理を適切に行い、調整池機能を維持するとともに、周辺環境の保全を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
乙子高野排水路の大野川合流部の護岸（国土交通省の占用を得て設置している施設）が破損している。現状放置することにより，国の管理する大野川本体への影響が懸念される。また，履行検査においても，破損状況の経過観察を指示されており，年々破損状況が酷くなっているため，早急に護岸補修する必要がある。	平成３０年度　護岸補修設計委託 平成３１年度　護岸補修工事
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
護岸補修をする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	設計委託業務費　３４７万円

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
水路・調整池機能を保全するため、草刈や土砂清掃等を計画的・効率的に実施していく必要がある。	雑草の繁茂状況により、効率的に除草を実施した。また土砂の堆積状況により清掃を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
除草回数（回）	9.00	15.00	17.00	15.00	17.00
述べ除草面積（㎡）	138,240.00	188,010.00	216,587.00	188,010.00	216,587.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	調整池機能は確保されている。今後も、適正な維持管理をし、良好な状態を保っていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	水路・調整池機能を良好な状態に維持するため、草刈・土砂清掃などを実施していく。また、乙子高野排水路施設に破損が見られたため、補修の検討をする。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	39,116	29,696	38,491	47,549	47,549
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,209	2,063	38,491	6,547	6,547
	一般財源	37,907	27,633	0	41,002	41,002
正職員人工数（時間数）		0.00	195.00	144.00	144.00	144.00
正職員人件費		0	800	590	0	0
トータルコスト		39,116	30,496	39,081	47,549	47,549